

第342号
2012年
3月8日

どついたちニューズ

全損保日動外勤支部
東京都中央区銀座5-13-7
東銀座東京海上日動ビル1階
電話 03-3542-9857
FAX 03-3542-9858
教宣部 発行

第132回 支部臨時大会 2012 春闘をたたかう体制 力強く 確立される

3月3日（土）、全損保日動外勤支部は第132回支部臨時大会を東京・築地社会教育会館で開催しました。

本大会では、全損保方針のもとに2012春闘を最後までたたかい抜く意思統一をはかる論議とともに、「休日就業」問題などの諸課題と『一人一言運動』への取りくみなどについて旺盛な論議がおこなわれ、2012春闘をたたかう体制が力強く確立されました。また、今大会は分会再編実施後初めて



開られた大会でしたが、分会総会での論議を踏まえた意見も多く出され、新分会体制ができあがった“効果、が確認できた大会でもありました。

いま社内では、昨春闘で見た経営の大幅な臨給削減攻撃やそれに伴って明らかになった従業員の働きがまったく反映されない業績賞与算出スキーム、「役割変革」という名のもとに繰り広げられている非情な人件費削減攻撃など、損保再編「合理化」情勢の深まりによってもたらされている経営施策の歪みに、働くものの悲鳴や不満が聞こえてくる状況だといえます。春闘要求はもちろんのこと、2012春闘は『一人一言運動』を起点に、こうした経営施策の歪みにも鋭く切り込んでいく春闘となります。



闘争で培った強固な団結を原動力に、2012春闘を最後の最後まで力強くたたかいぬきましょう。

2012 春闘を 強固な団結を原動力に 力強くたたかっていく決議

秋のたたかいから全損保運動の大きな取りくみとして『一人一言運動』が展開されている。「全損保運動の先頭に立つ」という運動方針を掲げる私たち日動外勤支部は、自ら声を発するだけでなく、募集人として多くの顧客を抱える特性を生かし、また多くの仲間に関争を支援していただいた経験も生かし、この『一人一言運動』を旺盛にすすめていく。2012年の全損保春闘は、春闘アピールにも記されている通り、まさに『一人一言』を力に職場からたたかう春闘である。

昨春闘の臨給回答のなかで会社は、会社業績を業績賞与スキームに当てはめ、前年比で1.5カ月ともなる削減回答を示した。それは、2年連続で収入保険料の増収に貢献した従業員の頑張り、そして未曾有の大災害となった東日本大震災の対応に懸命に取りくんだ従業員の頑張りに、まったく報いるものではなかった。業績賞与の年収に占める割合がきわめて高い仕組みのなかで、業績賞与を決定するスキームが従業員の働きを反映するものでないことが大きくクローズアップされた。また、現状では「役割変革」という名のもとに行われている業務シフトによって、仕事量そのものが増えたり、慣れない業務によって精神的な負担が強いられている実態が生じている。一方ではD考課が乱発され、自主退職を迫る動きも出始めており、きれいなネーミングとは裏腹に、人件費削減に的を絞った、非情な経営施策の本質が浮き彫りになっている。

私たちがすすめる 2012 春闘は、和解協定通りの運用を求め、職種変更者にも和解内容を適用することが要求の基本となるが、同時に再編「合理化」情勢の深まりによってもたらされているこうした経営施策の歪みに、まっすぐにものを言っていく春闘にもなる。

私たちは12月に開催した全員集会で、瀧徹次元全損保委員長の講演から、少数組合のたたかい方や意識の持ち方、真つ当なことを訴え続けていくことの正しさなどを学び、あらためて、闘争で培った固い団結を原動力に、この企業のなかで全損保日動外勤支部の旗を、力強く掲げ続けていくことを誓った。

解決すべき課題として位置づけた休日就業問題・職場環境問題などのたたかいを通し、私たちは、要求に基づき課題を明確にして、正論を主張し、地道に交渉を積み重ねていくことで、資本の立場を鮮明に打ち出す経営者の考え方でさえも、変えさせることができることを経験した。それは、会社が、少人数の組合でもその背後に強固な団結力を感じているからに他ならない。むかえる 2012 春闘をはじめ、すべての課題や運動を、強固な団結を背景に、力強く、果敢に、すすめていくことを宣言し大会決議とする。

2012年3月3日

全損保日動火災外勤支部 第132回支部臨時大会